事業所名　愛の家グループホーム佐倉西志津

作成日：　令和　8　　年　　4月　　24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	介護者の提供の記録が目立ち、利用者様の様子の記録が少ない。	利用者様の日々の様子や変化など、利用者の生活の証をしっかりと記録に残す。	介護記録の研修を年2回行う。(6月、12月)また日々の介護記録のフィードバックを必要に応じて行う。	12ヶ月
2	24	日々の業務がルーティーン化し、利用者様への思いや以降に沿った個別対応が不十分である。	利用者様本位にサービスを提供する必要があるため、業務を見直し、職員の利用者様への対応の時間を今以上に確保する。	ユニット会議にて職員から意見聴取し、業務フローの見直しを行う。(7月末)ICT化された介護記録についても、年2回(6月、12月)研修を行い、業務でも効率化を進める。	12ヶ月
3	19	家族への情報共有が不十分な時がある。	ご家族様へは月1回のお便りを提供しているが、様子の変化などが家族に行き届いてない事がある。	毎月のお便りをユニットリーダー、ホーム長が情報漏れがないか確認をする。申し送りで家族にn必要な情報をチェック欄を作成し、伝え漏れを伏せぐ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。